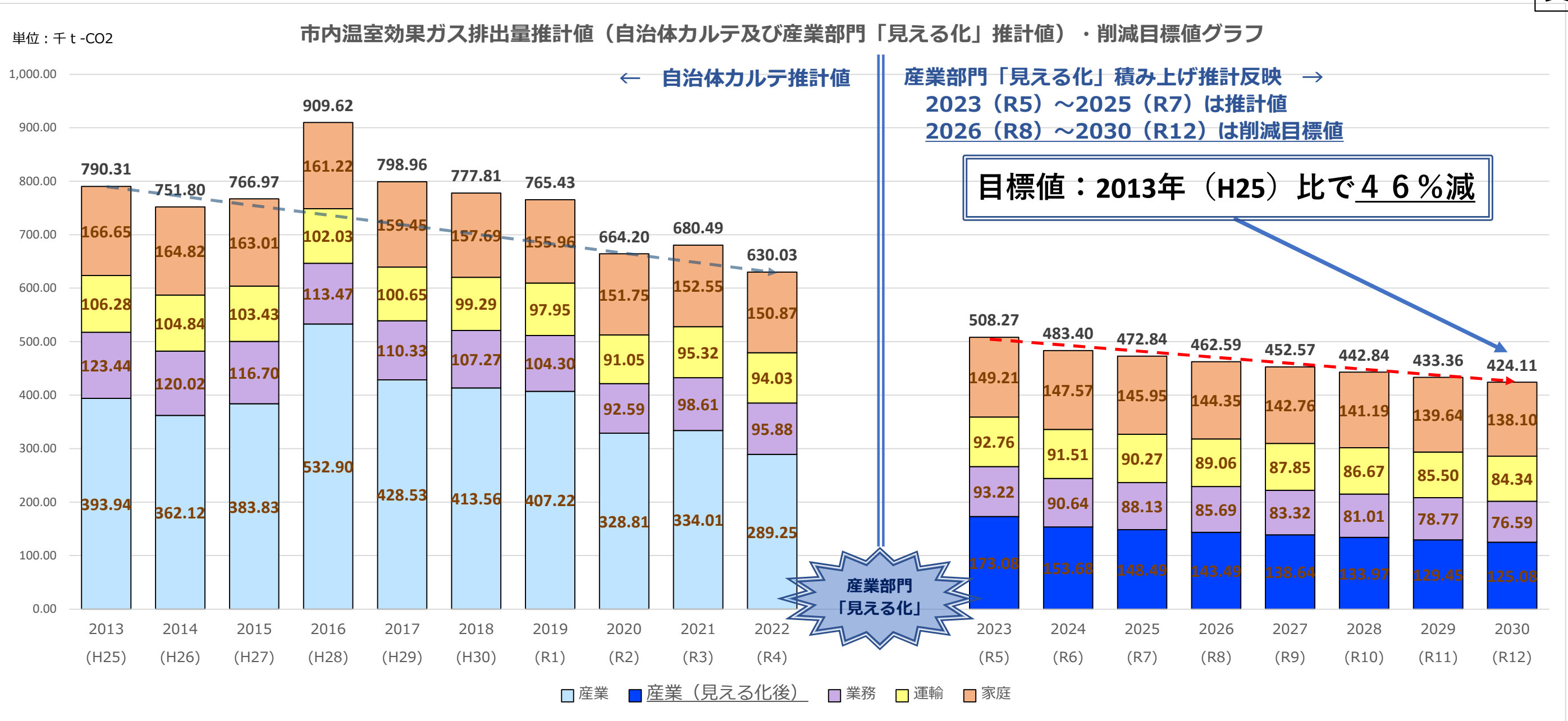


(1) 目標値（2030年度）達成のための温室効果ガスの削減率・削減量設定（数値目標編）



2026年（R8）～2030年（R12）の各部門毎の削減目標値、目標率

※産業部門については「見える化」による推計値、他部門についても可視化データが判明した時点でその数値で対比を行う

比較年	比較年					！目標値！	総削減量 (R8~R12)	削減率 (前年比)
	2013 (H25)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)		
産業 (R8～ 見える化後)	393.94	143.49	138.64	133.97	129.45	125.08	18.41	△ 3.37%
業務	123.44	85.69	83.32	81.01	78.77	76.59	9.10	△ 2.77%
運輸	106.28	89.06	87.85	86.67	85.50	84.34	4.72	△ 1.35%
家庭	166.65	144.35	142.76	141.19	139.64	138.10	6.25	△ 1.10%
計	790.31	462.59	452.57	442.84	433.36	424.11	38.48	△ 2.15%
2013 (H25) 比 (%)	100.0%	58.5%	57.3%	56.0%	54.8%	53.7%		

○産業（見える化後）について

R5年度より開始した「事業者向け温室効果ガス見える化」事業への各協力事業者より提供されたエネルギー使用量データに基づき算出した「温室効果ガス」、及び製造品出荷額に占める割合から計算を行う「積み上げ推計」を行ったもの（R5、6年度は実際のデータに基づいた積み上げ推計値、以降は目標削減率を反映した目標値）

全国、全道値からの頭割り推計では可視化できなかった、本市の産業構造を反映した数字、傾向を反映したものと考えられ、今後同様の「積み上げ推計」を他部門（可能な分野）でも実施し、実態把握と削減量検証を進めていく。

部門別・実施主体別の具体の施策は「施策編」へ

↑ 2013年比 △ 46%を達成！

(2) 2030年度に向けたロードマップ【施策編：実施主体別】

		R 8 2026	R 9 2027	R 10 2028	R 11以降 2029～
産業 業務 (運輸)	市	<p>(A) 事業者の温室効果ガス排出量見える化促進モデル事業 【情報収集継続・分析・新たな対象の検討】 ・エネルギー使用量データ収集、分析 ※参加企業数：38社（内4社システム導入） （内訳：製造業33社、非製造業5社） ・事業者への補助施策導入のサポート （国、道補助メニューの情報提供、申請時のサポート） ・啓発イベントへの参加要請（例：脱炭素セミナー） ・地元中小事業者への「見える化」事業方法の検討 （例：算定ツール選定、対象範囲選定・啓発、事業参加募集・依頼）</p> <p style="text-align: right;">①</p>	<p>【情報収集継続・分析・新たな対象へのアプローチ開始】 ・エネルギー使用量データ収集、分析 ※参加企業数：38社（内4社システム導入） （内訳：製造業33社、非製造業5社） ・事業者への補助施策導入のサポート （国、道補助メニューの情報提供、申請時のサポート） ・啓発イベントへの参加要請（例：脱炭素セミナー） ・地元中小事業者への「見える化」事業実施、削減行動の促し</p> <p style="text-align: right;">③</p>	<p>【情報収集継続・分析・新たな対象を含めた市域脱炭素への取り組み】 ・エネルギー使用量データ収集、分析 ※参加企業数：38社（内4社システム導入） （内訳：製造業33社、非製造業5社） ・事業者への補助施策導入のサポート （国、道補助メニューの情報提供、申請時のサポート） ・啓発イベントへの参加要請（例：脱炭素セミナー） ・地元中小事業者への「見える化」事業実施、削減行動の促し ・フィードバックデータに基づく更なる施策の検討 ・取組事例収集、他事業者への情報提供</p> <p style="text-align: right;">⑤</p>	<p>※①～⑥については施策、事業の流れを表すもの</p> <p>施策内容：R8～R10の3年間実施状況を踏まえて見直しを行い、R12年度（2030年度）の削減目標達成をはかる</p> <p>※①～⑥については施策、事業の流れを表すもの</p>
	機関等	<p>【各種サービスの提供】 ・「温室効果ガス見える化」システムの利用権提供 ・導入企業への融資提案、脱炭素工程表と行動計画策定の支援、中小事業者向け脱炭素支援事業紹介</p>			
	事業者	<p>【「見える化」継続・自主改善】 ・事業者向け「温室効果ガス見える化」事業への参加継続 ・事業者補助施策の申請、実施 ・啓発イベントへ参加</p> <p style="text-align: right;">②</p>	<p>【施策の実践・自主改善・脱炭素施策参加拡大】 ・事業者向け「温室効果ガス見える化」事業への参加継続 ・事業者補助施策の申請、実施 ・啓発イベントへ参加 ・中小事業者向け施策への参加、実践</p> <p style="text-align: right;">④</p>	<p>【施策の実践・自主改善・脱炭素施策参加拡大】 ・事業者向け「温室効果ガス見える化」事業への参加継続 ・事業者補助施策の申請、実施 ・啓発イベントへ参加 ・中小事業者向け施策への参加、実践</p> <p style="text-align: right;">⑥</p>	
家庭 (運輸)	市	<p>(B) ゼロカーボンに向けた市民の行動喚起事業 【施策展開・見直し】 ・アクションプランの周知 より取り組みやすく効果が見込まれるアクションの抽出と実践へのPR ・アクションプランのメニュー検証、見直し ・インセンティブシステム「えにわゼロちゃれ！」の運用、取得データの分析による家庭部門の温室効果ガス排出量傾向の把握 ・啓発イベントの実施 ・啓発広告、PRの継続</p> <p style="text-align: right;">①</p>	<p>【施策展開・見直し】 ・アクションプランの周知 より取り組みやすく効果が見込まれるアクションの抽出と実践へのPR ・アクションプランのメニュー検証、見直し ・インセンティブシステム「えにわゼロちゃれ！」の運用、取得データの分析による家庭部門の温室効果ガス排出量傾向の把握 ・温室効果ガス排出傾向に合わせた施策検討 ・啓発イベントの実施 ・啓発広告、PRの継続 ・削減量（率）が高い世帯の削減取組事例収集・紹介</p> <p style="text-align: right;">③</p>	<p>【施策展開・見直し】 ・アクションプランの周知 より取り組みやすく効果が見込まれるアクションの抽出と実践へのPR ・アクションプランのメニュー検証、見直し ・インセンティブシステム「えにわゼロちゃれ！」の運用、取得データの分析による家庭部門の温室効果ガス排出量傾向の把握 ・温室効果ガス排出傾向に合わせた施策実施 ・啓発イベントの実施 ・啓発広告、PRの継続 ・市民同士の削減取組情報交換（例：市民座談会等）</p> <p style="text-align: right;">⑤</p>	
		<p>【効果検証・施策検討など】 ・産学金官参加型の「環境審議会部会」による市域の脱炭素施策及び普及手法の議論、検証、アップデート 【学習・意識醸成】 ・環境、省エネ、脱炭素施策に関する情報をイベント、各種PR事業を通じて発信</p>			
		<p>(C) 「環境エネルギー展」「えにわゼロちゃれ!」「広報誌記事掲載」「恵庭市公式各SNSアカウントからの情報発信」 etc.の啓発事業</p>			
市民	<p>【行動継続による家庭部門の削減実施】 ・「アクションプラン」に基づく省エネ行動の実践 ・「えにわゼロちゃれ!」への登録、各家庭のエネルギー使用量入力による家庭の温室効果ガス排出量「見える化」 ・啓発イベント等への参加</p> <p style="text-align: right;">②</p>	<p>【行動継続による家庭部門の削減実施】 ・「アクションプラン」に基づく省エネ行動の実践 ・「えにわゼロちゃれ!」への登録、各家庭のエネルギー使用量入力による家庭の温室効果ガス排出量「見える化」 ・啓発イベント等への参加 ・削減取組実践事例の情報提供</p> <p style="text-align: right;">④</p>	<p>【行動継続による家庭部門の削減実施】 ・「アクションプラン」に基づく省エネ行動の実践 ・「えにわゼロちゃれ!」への登録、各家庭のエネルギー使用量入力による家庭の温室効果ガス排出量「見える化」 ・温室効果ガス排出傾向に合わせた施策の実践 ・啓発イベント等への参加 ・削減取組実践事例の情報交換会等への参加</p> <p style="text-align: right;">⑥</p>		

○「ゼロカーボンロードマップ」 新旧対照表

	項目	従前ロードマップ (R5~R7)	次期ロードマップ改定案 (R8~R10)
	計画期間	R5~R7	R8~R10
(1) 数 値 目 標 編	数値の設定方法	国確報値を基に仮想的に算出 (全部門) 変更⇒	「市内事業者向け温室効果ガス排出量見える化事業」により産業部門の推計値を算出 他部門は自治体排出量カルテの数字をベースとした
	削減目標 (率) 設定方法	国の確報値から年間削減率を割り返して算出 2013年 (H25) 比46%削減を目指すため全部門一律での削減率設定 (前年度比▲3.65%) 変更⇒	自治体排出量カルテのデータを基に年間削減率を割り出し、各部門毎の削減率を個別に設定 (前年度比) 産業部門：▲3.37% 業務・その他部門：▲2.77% 運輸部門：▲1.35% 家庭部門：▲1.10%
	グラフの表現手法	各年の2013年 (H25) 比の削減率を表示 変更⇒	各年の各部門及び合計値についてCO2量を表示
(2) 施 策 編	産業・業務部門 (市取組)	工業クラブ所属事業者、製造業事業者の温室効果ガス排出量「見える化」事業の展開、データ取得 (大~中規模事業者を主な対象) 追加⇒	地元中小事業者への「見える化」事業方法検討、事業実施 ※「見える化」対象の拡大
		— 追加⇒	地元中小事業者への削減行動の促し、取組事例収集⇒他事業者への情報提供
	産業・業務部門 (事業者取組)	事業者向け温室効果ガス排出量「見える化」事業への参加 追加⇒	地元中小事業者向け「見える化」事業への参加
	家庭部門 (市取組)	アクションプランの策定・PR (ピックアップ等はなく全体) 家庭部門の温室効果ガス排出量「見える化」事業の企画・設計、運用開始 追加⇒ 変更⇒	アクションプランの中で効果が高い・取り組みやすいアクションの選定、PR、メニュー見直し 「えにわゼロちゃれ！」の運用による家庭部門の温室効果ガス排出量の把握
		— 追加⇒	家庭部門の温室効果ガス排出傾向に合わせた施策検討、実施
		— 追加⇒	削減率が高い世帯の事例情報収集、展開、情報交換会等の企画
	家庭部門 (市民取組)	— 追加⇒	「えにわゼロちゃれ！」事業への参加による温室効果ガス排出量データの提供 削減取組事例の情報提供、情報交換会等への参加